

令和5年度地震・津波防災訓練 (内閣府・大分県日出町)

実施報告書 (概要版)

大分県日出町について

大分県日出町は、大分県の中北部、国東半島の入口に位置し、南は別府市、北は杵築市に接しており、北西部は山岳高原地帯で山林が大部分を占めるが、南東部は海岸段丘のならかな丘陵地帯で農地、市街地及び集落が広がっている。大河川ではなく金井田川をはじめとする2級河川が別府湾に注いでいる。海岸線は延長約25kmにわたり、海食崖をなすところが多いが、海底は遠浅である。

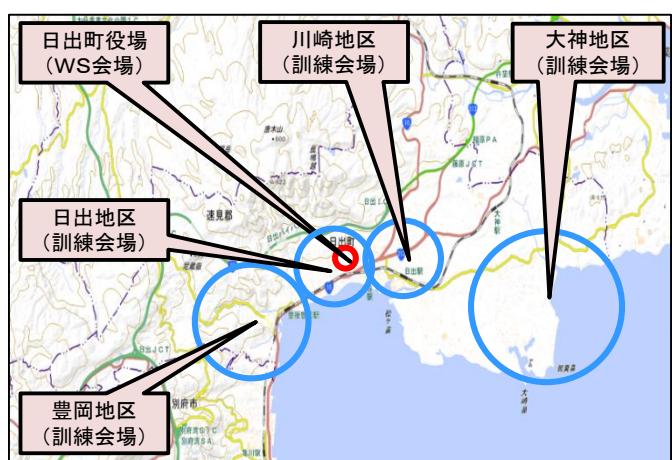
周辺地域には中央構造線断層帯や日出生断層帯など数多くの活断層が分布し、南西部には鶴見岳伽藍岳などの活火山が位置している。

気候は、瀬戸内海型気候区に含まれ温暖であり、海岸部は無霜地帯である。雨量は比較的多く、降雨量の大部分は梅雨期と台風シーズンに集中している。

日出町では、毎年3月第1日曜日を町一斉避難訓練の日として住民の自主防災組織を中心となり各種災害からの避難行動などの実践的な訓練を実施している。

町内43箇所の緊急避難場所と16箇所の避難所を指定するとともに、15箇所の福祉避難所を民間事業者等と協定締結し、災害時の避難先確保に努めている。

また、2021年3月に町ハザードマップを作成し全戸配布して、地域のリスクや避難所等の周知を図り、地域の防災意識啓発に取り組んでいる。



出典：国土地理院

訓 練 概 要

- 訓練想定：令和5年11月5日（日）午前9時、マグニチュード9.1の地震（南海トラフを震源とする）が発生、日出町において最大震度5強を観測、最大5.01mの津波が99分後に襲来する想定のもと訓練を実施した。
- 実施日時：【訓練実施前WS】令和5年10月9日（月・祝）9:30～12:00
【地震・津波防災訓練】令和5年11月5日（日）9:00～12:00
【訓練実施後WS】令和5年12月17日（日）9:30～12:00
- 主 催：日出町、内閣府
- 参加者数：816名
- 参加機関：津波想定区域内19自治区、日出町、杵築日出警察署、日出消防署、日出町消防団、陸上自衛隊等
- 訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練・安否確認訓練、情報伝達訓練、避難者誘導訓練、避難者輸送訓練、防災広報（展示）等
- 訓練の特色：警察署、消防署及び消防団等による避難の呼びかけ、避難誘導を実施。また、陸上自衛隊の協力を受け、指定緊急避難場所から指定避難所に向け、自衛隊車両による避難者輸送訓練を実施。

訓 練 の 成 果

【成果】

- 訓練実施前ワークショップでは、「なぜ、逃げ遅れるのか？」について、高齢者・障害者の増加、近所付き合い・町内自治活動への参加等の減少、正常化の偏見から起こることを参加者が理解し、そのために地区防災計画が必要であることを認識できた。
- 地震・津波防災訓練では、計画よりも多くの方が訓練に参加し、沿岸部住民の津波避難に対する関心の高さを確認できた。アンケート結果からは、90%以上の方が10分以内に避難先に避難できたが、高齢者が坂道を徒歩避難する際の、近所や自治会による避難支援及び避難要領の検討等の必要性を認識できた。また、警察署、消防署、陸上自衛隊及び消防団等の防災関係機関の相互協力のもと訓練を実施したことにより、地震・津波災害時の連携要領等を確認できた。
- 訓練実施後ワークショップでは、参加者の3／4が地震・津波防災訓練に参加された方で、訓練実施前ワークショップや地震・津波防災訓練が防災意識の啓発に有効であった。アンケート結果では、地区防災計画を「作成すべき」「あったほうがよい」と全ての参加者が回答しており、地区防災計画について話し合う良い契機になった。

【課題】

- 今回の訓練は、住民主体の訓練として実施されたが、学校、企業、防災機関及び観光客等の訓練参加や、夜間・荒天時の迅速・安全な避難の実施等、想定外を作らない工夫が更に必要である。

10月9日(月・祝)9:30~12:00 訓練実施前ワークショップ

「なぜ、逃げ遅れるのか？」について、高齢者・障害者の増加、近所付き合い・町内自治活動への参加等の減少や正常化の偏見から起こることを学び、高齢者や障害者の災害体験記事から、「地域全員が助かるために事前にやっておくべきこと」等について話し合いを行い、地区防災計画の作成等について検討するなど、実践的・具体的なワークショップを実施した。

▼防災専門家 鍵屋教授
(跡見学園女子大学)

▼ワークショップの様子



11月5日(日)9:00~12:00 地震・津波防災訓練

- 11月5日(日)午前9時に巨大地震が発生し99分後に5.01mの大津波が襲来する想定の下、津波想定区域内19自治区においてシェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難誘導訓練及び安否確認訓練等の実践的な訓練を実施した。

- また、自衛隊車両を使い避難させる避難者輸送訓練、海水浴客等の避難誘導要領の現地確認、防災広報(展示)を行い、地域住民の防災意識を高め、地震・津波発生時の避難行動等について理解を深めた。

▼シェイクアウト訓練
(日出町役場)▼津波避難訓練
(津波想定区域内19自治区)▼安否確認訓練
(津波想定区域内19自治区)▼避難者輸送訓練
(大神地区)▼避難誘導要領の現地確認
(糸ヶ浜海浜公園)▼防災広報(展示)
(中央公民館)

12月17日(日)9:30~12:00 訓練実施後ワークショップ

- 地震・津波防災訓練の振り返りを行った後、訓練実施前ワークショップの内容から一歩踏み込んで、津波避難体験記事から「地域の全員が助かるために事前にやっておくべきことと、その時の行動」等について話し合いを行った。

- 訓練実施前ワークショップと地震・津波防災訓練の検討結果と合わせ、津波避難についてさらなる理解を深め、継続的な防災訓練及び地区防災計画策定の重要性と必要性を共有した。

▼日出町危機管理室長



▼ワークショップの様子

